



〔拡大版〕

過ぎゆく夏を満喫

ーひだかニッコリゆかたフェスターー

8月30日(土)、中央公民館前の駐車場で、日高町商工会青年部(西義朗部長)主催の「第9回ひだかニッコリゆかたフェスタ」が催され、浴衣や甚平姿の子どもたちで賑わいました。

会場の屋台では、焼きそばや唐揚げなどのほか、かき氷やソフトクリームなど冷たい甘味も充実。行列が絶えないほど大盛況でした。

また、ゲームコーナーではスーパーボールすくいや射的の屋台が出店。射的では、子どもらが次々に挑戦し、目当ての景品に狙いを定めていました。

催物では、恒例のゆかたコンテストが開催されたほか、ウルトラマニアックによるダンスショーも披露され、会場は大いに盛り上がりました。

さらに、メインイベントとして盆踊りが実施。会場中央に組まれたやぐらを囲んで踊り、みんなで夏を満喫しました。



カヌー・カヤックで交流 — 堺・日高少年交歓会 —

8月21日(木)・22日(金)、堺市立日高少年自然の家において、堺・日高少年交歓会が開催され、日高町から33人、堺市から57人の小学生合わせて90人が参加し、交流をしました。

初日は入館式のあと、ライフジャケットを着用し、自然の家の前の海でカヌーやカヤックを楽しみました。

また、2日目は沖まで出て、方杭地区の温泉館「海の里」みちしおの湯の前の浜までの競争に挑戦。日高町と堺市の小学生が、力を合わせて海上散歩を楽しみました。



荊木チームが強さを発揮 — 老人クラブ連合会・ペタンク大会 —

9月2日(火)、若もの広場において、町老人クラブ連合会(木下美津夫会長)が主催するペタンク大会が開催され、町内各地区の老人クラブから合わせて33チーム・103人が参加し、勝敗を競いました。

ペタンクとは、ビュットという玉を4~11m先に投げ、ブルと呼ばれる鉄球を、いかにビュットの近くに投げられるかを競う競技で、2チームが得点を争います。

8つのリーグに別れて競技を開始した参加者らは、ブルをビュットにぴったりと寄せる好投や、相手のブルを弾く妙技を披露。普段の練習の成果を発揮し、試合を楽しみました。

リーグ戦の1位8チームが決勝トーナメントに進出し、準決勝4チームのうち、荊木がなんと3チーム。

決勝も荊木同士の対決となり、延長戦の激闘を征した荊木Eチームが優勝となりました。

優勝した荊木Eチームの田坂行曠さんは「まさか優勝できるとは思いませんでした」と嬉しそうに話していました。